

信州フォレストワーク通信

岩草活動の候補地見学



森づくり候補地の善所

昨年の暮れに、令和5年以降の活動地として、また企業の CSR 活動として森づくりをする候補地を岩草の滝澤さんに案内して頂きました。場所は旧岩草分校に近い善所で、標高 669m の三角点があります。ここを整備すれば北アルプスの絶景が望める素敵な森になりそうです。

そして 3 月 1 日には、善所の地主さんと岩草区の次期区長さん、長野地域振興局林務課の渡邊さんに現地に集まって頂き、境界の確認と今後の活動について話し合いを行いました。すでに企業とオンラインで顔合わせを済ませており、いよいよ実現に向けての活動がスタートします。

さらにもう一箇所、こちらも拠点に近い春日山神社の手前にある公園緑地。東屋があり、この近くにピザ窯小屋を設置する予定です。ここからも北アルプスの眺望が素晴らしく、イベントを行うには最適な場所です。

見学当日は多くの会員の参加があり、皆さんの関心の高さが伺えました。大勢の目を見て、それぞれ感じる事があったと思いますので、10年後、20年後を見据えてどのような取り組みができるか、皆で練っていきましょう。



地主さん達と現地確認



ピザ窯小屋予定地

岩草活動の候補地見学

..... 1

中条間伐事業

..... 2

望年会、1-3月活動

..... 3

第21回通常総会開催

..... 4

SDGs を推進するため、水や資源の節減、セルフサービスの徹底に協力いただき、環境に優しいマイ箸、マイカップの持参をお願いしています。勿論、ゴミは持ち帰りが原則です。

メルマガ(メーリングリスト)のアドレスは

sfw-mail@sfw.or.jp です。

皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。

中条間伐事業

前回に続き、今回も中条の住良木地区^{すめらぎ}の間伐を行いました。地区の生活センターをお借りして間伐の拠点とし、SFWの軽トラと間伐道具の保管、昼食場所としても利用し、大変便利に使わせて頂きました。

☆10月23日(日)

公図とGPSを使って施業地の外周を歩いて回り、境界を確認しながら各ポイントに目印の赤テープを巻いて行きました。今回の施業地は前回以上に急斜面で、おかげで外周を歩くだけで良い運動になりました。

☆11月3日(木)

間伐開始です。まずは密度管理を行いました。右の写真を見ても分かる通りかなりの急斜面で、赤テープを巻いたり胸高直径を測るだけでもひと苦労です。ましてここで伐採作業をするとなると、転げ落ちないように足場の確保が重要になります。また作業前のミーティングと作業終了後の反省会が欠かせません。例えば、伐倒の際に呼子を鳴らしますが、ただ鳴らせば良いわけではなく、周囲に人がいないか、もしいる場合は、その呼子を認識したか声掛けしてしっかり確認しようと申し合わせました。



急斜面での密度管理

☆12月3日(土)

この日は新人からベテランまで8名が集まりました。人数の多い分、作業エリアを分けて安全を確保する必要があり、また何よりもチームワークが重要です。



プラロックを使った伐倒

新人にはベテランがついて、傾斜の緩い尾根筋で枝払い

や玉切り、そして小径木の伐倒を行いました。

また掛かり木が避けられそうにない立木も多くあり、そういう場合はチームを組んで、プラロックを使い、安全に伐倒を行います。



☆3月4日(土)

1月と2月は積雪の状況を見ながら少しずつ間伐を進めました。そしてこの

日は道路を通行止めにしての間伐最終日で、総勢12名が集まりました。伐倒の難しい立木ばかりが残っているので、プロの宮川さんにも応援してもらいました。

そして道路に覆いかぶさるように偏芯した広葉樹や裂けたり、折れたりしている危険木の伐倒を行いました。

おかげさまで予定時刻までに無事に作業を終わらせることが出来、生活センターに戻って反省会兼茶話会です。皆さん、お疲れさまでした。



危険木の伐倒



特伐技術を駆使しました

望年会

12月17日中条の生活センターで望年会を行いました。メインディッシュは長野県産の新そば粉を使った手打ちそば。他にも沢山の差し入れがあり、お子様ふたりを含む17名で大いに盛り上がりました。

料理の準備中に神保さんが講師となって安全講習を行いました。事故事例による注意すべきポイントや伐倒時の注意点について実践的なアドバイスがありました。

ようやくお待ちかねのそばが茹で上がり、皆さん口々に旨い！を連発。アツと言う間でしたが、会員同士の楽しい時間を共有する事が出来ました。

最後に理事長から企業とのコラボレーションの話があり、森づくりを体験できるフィールドを検討したいとのこと。これまで決まったフィールドを持たないSFWでしたが、2023年に向け、新たな展開が始まりそうです。



1月～3月の活動から

☆1月22日 ここからエシカルライフ fes でグリーンウッドワークワークショップ

長野県文化部くらし安全・消費生活課がエシカル消費(*1)推進のために開催したイベントで、グリーンウッドワークのバターナイフづくりのワークショップを行いました。事前に桜の生木をかなり薄いところまで粗削りして、バターナイフの形に準備しておいたので、参加者はナイフワークだけに集中して、一時間程度で無理なく完成させることができました。参加者から「あつというまに時間が過ぎた」「楽しかった」などの声を頂きました。

消費関係のイベントは初めての経験で、ご参加頂いた皆様の雰囲気も少し都会的なものがありました。このイベントでいろいろな方との出会いもあり、グリーンウッドワークを広げる機会にもつながって行きそうです。(倉島寛)



無心になってナイフで削っていきます

*1 エシカル消費・・・消費者が社会問題の解決を意図して行う消費活動のこと。

☆2月20日 長野市立広徳中学校 学校林等利活用促進事業

この日は朝から小雪が舞う寒い一日でしたが、参加した広徳中学校支援学級の生徒7名は元気いっぱいです。中には半袖、半ズボンの子もあり、若さあふれるエネルギーに驚きました。SFW スタッフは4名参加でしたが、地域振興局よりベテラン含めて3名の応援をいただき、とても助かりました。

活動内容は、昨年秋に伐採したクヌギのホダ木を使って、スタッフが植菌の穴を明け、生徒はそこへシイタケの駒うちをしました。北風が寒いので校舎の南側へホダ木を運んで植菌し、また仮伏せの場所に戻したりと、重いホダ木を生徒が2人1組になって楽しそうに運んでくれました。

生徒の感想で、「久々に体を動かして楽しかった」とか、「シイタケのことを知ることができて良かった」などの声がありました。活動終了後、教室でお茶を頂きながら、生徒の皆さんとしばし交流が図れました。(中島正博)

☆3月6日 長野市立三本柳小学校 学校林等利活用促進事業

段々暖かくなって春がもう近くまで来ているのが実感できる穏やかな日に、三本柳小学校の4年生4クラスと5年生3クラスの全員に1,000個余りのシイタケの駒うちを体験してもらいました。ホダ木は昨年12月に5年生と



頭が平らになるまで打ちます

SFW で伐倒した学校林のクヌギです。本校では初めてのシイタケの駒うちであり、生徒も先生も興味津々。

「シイタケが生るのは来年かな。楽しみだね。」そんな会話をしながら元気いっぱい駒を打ってくれました。そして口々に「楽しかった」や 5 年生からは「学校の木を使って SDGs が出来るのが分かった」と言う素晴らしい感想を聞くことが出来ました。

☆3月21日 オオヤマザクラの植樹

活動拠点の旧岩草分校にはソメイヨシノの古木が何本もありますが、元気がありません。昨年 10 月に樹木医に診てもらった結果、いずれもてんぐ巣病との診断。そもそもソメイヨシノは標高の高い場所には適さないそうで、治療するよりも植え直した方が良さだろうとのアドバイスを頂きました。

そこで長野県緑の基金の助成を受けて、オオヤマザクラの植樹を行いました。ソメイヨシノの古木は時期を見て伐採していく予定です。オオヤマザクラの花には来春会えるでしょうか。楽しみです。



8mの間隔をとって苗木を植えました

第21回通常総会開催

3 月 25 日第 21 回通常総会を旧岩草分校にて開催しました。久しぶりに会う会員や新しい会員など総勢 17 名が参加し、活発な議論が行われた後、議案のすべてが承認されました。特に次年度に向けた役割分担の引継ぎ案が示され、これに多くの意見が交わされました。

主な意見としては、「これまでの運営に関して理事長や事務局へ頼り過ぎていると思うので、今後はより協力していきたい。」「多くの事業を進めていく中で、事業

毎に責任者を決め、

責任者が各種申請なども含めて運営していくべきだ。」「会計と事務局を分離した場合、余計な負担が発生するのではないか。」「などがありました。今後さらに議論を深めて、次年度の体制・役割分担について考えていきましょう。

会議後はノンアルコールで茶話会です。ピザやスープ、差し入れのお菓子などをいただきながら、全員の自己紹介や近況報告をしつつ、楽しい時間を過ごしました。



茶話会の様子



理事長のあいさつ

今回の通信 272 号から編集を担当します丸尾と申します。まだまだ不慣れなため、お見苦しい点があると思いますが、是非ご意見・ご感想を頂ければと思います。また SFW の活動に限らず趣味や日常のちょっとしたことなど、ご投稿を頂けるととても嬉しいです。

3 年に及ぶマスク生活からようやく解放されつつありますが、皆さんはどうお過ごしでしょうか。街中にはまだまだマスクを着けている方が多く見受けられますが、私は基本マスクなしの生活に変えました。マスクの煩わしさから解放され快適です。これまで学校関係などでコロナで中止になった事業も多かったと思いますが、これからは忙しくなりそうです。どうぞご協力をお願いします。

NPO 法人信州フォレストワーク

通信編集委員会

〒381-2246 長野市丹波島1-725-5

電話・FAX: 026-285-2573

携帯電話: 090-2658-2044

office@sfw.or.jp

http://www.sfw.or.jp/

